

**奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票**

調査日	2019 年	1 月	23 日	記入者	仲谷裕巳
調査者名	久門	橋詰	仲谷		

調査対象先	志賀直哉旧居				
所在地	奈良市高畑町1237-2			電話番号	0742-26-6490
代表者 調査対応者	志賀直哉旧居館長の大原荘司・奈良学園大学名誉教授(旧居は学校法人奈良学園が所有・管理)				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1 件 3 棟	国宝:	件 棟

**地震対策**

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	昭和53年に厚生省(当時)より譲り受け保存に努めていた。旧居は志賀直哉により昭和4年の建築で、築90年。10年前、復原修復工事の際、震度6強程度に耐えられるよう耐震工事を行った。
	今後の予定	特になし。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	
	要望	

**防火対策**

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	消防法で定める特定施設であるため、各室の火災感知器や火災報知設備等は完備している。消防局の検査も受検済である。
	今後の予定	特になし。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	志賀直哉旧居
-------	--------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	10年前の復原修復工事の際シロアリによる被害がひどかったため土台や根太等の床組を取り替え、防蟻処理を行っている。その他の獣害はない。スズメバチの巣は小さいうちに処理している。
③ 今後	今後の予定、要望	特になし。

表門と主屋＝奥2階建て＝(どちらも県指定文化財)



主屋の附属待合(県指定文化財)



火災報知機と消火器



天井の火災感知器



事務室内の火災受信機



【調査票記入者(仲谷裕巳)の感想】

復原修復工事の際、震度6強程度に耐えられるよう耐震工事も行っており、耐震・防災面では問題はない。法人の所有のため意識は高く、今後も適正な管理に努めていただきたい。